

10月27日(土)

8:30~10:00 分岐部



コーディネーター
及川 裕二
心臓血管研究所付属病院

分岐部は、いまだPCI手技の中でも複雑なものとして考えられています。適したステント留置をするためには、現在使用可能なステントの種類・構造を理解し選択する必要があります。またステント留置前にデバルキングが有用なケースも存在します。留置後の側枝閉塞は常に考慮しなくてはならず、そのbail-out方法は多く知っていると、より安全な手技が可能となります。第一部では、治療時のTipsをエキスパートの先生からご講演頂きます。また第二部では、CT、IVUS、OCT/OFDIなどイメージングデバイスを併用することにより、分岐部PCIをより確実にそして安全に、また良好な慢性期成績につながるような手技が可能となり得るか、についてご講演頂くことにしました。実践的内容を多く含むセッションとなるように考案しましたので、ぜひご参加ください。

座長
阿部 秀年 松本協立病院
小川 崇之 東京慈恵会医科大学

座長
伊藤 良明 済生会横浜市東部病院
岡村 誉之 山口大学

1. 分岐部に対するPCIテクニック

Single or Two Stentingに対する考え方・手技方法

角谷 誠 加古川中央市民病院

Plaque modification 1 ロータブレーター

櫻井 将之 おおたかの森病院

Plaque modification 2 DCA

嘉納 寛人 心臓血管研究所付属病院

Plaque modification 3 Scoring balloon

西尾 壮示 草津ハートセンター

Jailed balloon technique

鈴木 孝英 JA北海道厚生連 旭川厚生病院

分岐部病変特有のComplicationとその対策、
bail-out法

道明 武範 小倉記念病院

2. イメージングデバイスを分岐部に活かす

CTAの読影およびCTAから考える分岐部治療戦略
の立て方

管家 鉄平 華岡青洲記念心臓血管クリニック

術中イメージング IVUS

山脇 理弘 済生会横浜市東部病院

術中イメージング OCT/OFDI

名越 良治 大阪府済生会中津病院

10月27日(土)

10:10~11:50 IVUS/OCT/OFDI



コーディネーター
寺島 充康
豊橋ハートセンター

血管内イメージングデバイス (IVUS/OCT/OFDI) は、適切なPCIを行うために重要な役割を担っています。病変の形態や性状をはじめ、断面あるいは長軸方向での病変分布を知ることで、ストラテジー、デバイスサイズ、そしてエンドポイントの決定はもちろん、トラブル発生の予見・発生時の対応など、特に複雑病変において質の高いPCIを行うためには必須のデバイスと言えます。ただ、重要な情報はイメージングを行いさえすれば得られるものではなく、画像から読み取る必要があります。それにはトレーニングが必要です。今回、IVUSとOCT/OFDI、両方のデバイスに精通した先生方に講師をお願い致しました。その上で、それぞれの項目につきTipsとPitfallsを解説いただけます。ぜひご多くを学んで明日からのPCIに生かしてください。

座長
小川 崇之 東京慈恵会医科大学
高木 厚 済生会川口総合病院

ここに気を付けよう: IVUS/OCT/OFDIによる組織性状評価のPitfallと治療戦略

藤井 健一 関西医科大学

ここに気を付けよう: 石灰化病変に対するIVUS/OCT/OFDIの使い分けとPitfall

小林 智子 京都桂病院

ここに気を付けよう: LMTを含む分岐部病変に対するIVUS/OCT/OFDIの使い分けとPitfall

添田 信之 星総合病院

ここに気を付けよう: イメージングカテーテルのスタックと対処法

高木 厚 済生会川口総合病院

CCT

Complex Cardiovascular Therapeutics 2018

2018

Fellow Course

日時 2018年10月25日(木)~27日(土)

会場 神戸国際展示場 1号館 2F Room 8

CCT Website <https://cct.gr.jp/>



CCT2018 Fellow Course



CCT2018
Coronary Course Director

那須 賢哉

豊橋ハートセンター

CCT2018では、Fellow courseを開催します。今年のFellow courseでは、PCIの適応決定に今や不可欠となったFFRコースをはじめ、病変治療の方針決定には欠かせないイメージングデバイスの理解を深めるためのIVUS/OCT/OFDIコースを準備いたしました。また、CTO、分岐部病変、石灰化病変コースも開催いたします。このような複雑冠動脈病変の治療には、病変の特徴や治療法を理解するとともに、合併症の予防と対処が重要です。様々な病変に対する治療への理解が深まる機会になることを期待しております。

10月25日(木)

8:30~12:20 CTO



コーディネーター
浜中 一郎
洛和会丸太町病院

ガイドワイヤーを含む各種デバイスや冠動脈CT、IVUSなどのイメージングモダリティの進歩により、CTOに対するPCIも標準化が進みました。しかしながら、術前の準備の重要性とともにあらゆる状況に対処できる技量が要求される事には変わりありません。“CTO”セッションでは、CTO PCIについていろいろな角度から学べるようエキスパートの先生方にご講演いただきます。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

座長
浜中 一郎 洛和会丸太町病院
松尾 浩志 八尾徳洲会総合病院

CTO治療(術前検討篇)

CTO治療の適応について考える

山田慎一郎 北播磨総合医療センター

治療に有用な冠動脈造影とは: レトロチャンネルの同定

宮原 眞敏 三重ハートセンター

CTの読影: どこに注目?

奥津 匡暁 川崎医科大学総合医療センター

術前のストラテジーの立て方: A to Z

保坂 文駿 岡村記念病院

CTO治療(治療篇1)

アンテグレードアプローチに必要な知識

下地顕一郎 済生会宇都宮病院

IVUSガイドアンテグレードワイヤリング

山本 義人 いわき市立総合磐城共立病院

レトロチャンネルワイヤリング どこから始める、どこでやめる

松尾 浩志 八尾徳洲会総合病院

レトロチャンネルでマイクロカテが通過しない!

長谷川勝之 東宝塚さとう病院

CTO治療(治療篇2)

Reverse CARTがうまくいかない!

片岡 亨 ベルランド総合病院

CTO治療中に遭遇するIVUS所見

野崎 洋一 北光記念病院

うまくいかない: 治療のエンドポイントは?

鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック

CTO治療中の合併症とその予防: どこに注意? どう対応?

福原 怜 兵庫県立尼崎総合医療センター

10月26日(金)

8:30~12:20 石灰化病変を克服する



コーディネーター
羽原 真人
豊橋ハートセンター

座長
鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック
細木 信吾 高知医療センター

1. 石灰化病変: 治療にあたり必要な知識

病理学から見た石灰化病変とは

大塚 文之 国立循環器病研究センター

心臓CTを使いこなす

管家 鉄平 華岡青洲記念心臓血管クリニック

IVUSを使いこなす

嘉納 寛人 心臓血管研究所付属病院

OCTを使いこなす

大竹 寛雅 神戸大学医学部附属病院

2. 石灰化治療: スコアリングバルーンで治療する

Cutting balloon ・NSE balloonで治療する

藤田 浩志 名古屋市立大学大学院

ScoreFlex ・Angiosculpt balloon で治療する

福原 怜 兵庫県立尼崎総合医療センター

10月26日(金)

13:30~15:30 Physiology (FFR)



コーディネーター
川瀬世史明
岐阜ハートセンター

座長
川瀬世史明 岐阜ハートセンター
栗田 泰郎 三重大学

2018年の保険診療改定に関して

川瀬世史明 岐阜ハートセンター

冠循環の基礎とFFRの概念: 主要なエビデンスを含めて

栗田 泰郎 三重大学

各種最大冠拡張誘発方法や測定上の注意点、値の解釈

藤田 浩志 名古屋市立大学大学院

さまざまなデバイスの進歩・テクニックの発展によりカテーテル治療は急激な進歩を遂げてきました。しかしながら依然として解決できていない病変の一つが石灰化病変であり、適切な治療法の選択を間違えれば治療に難渋し合併症を来すことも少なくありません。適切な治療法の選択のためには術前情報を収集し、デバイス選択を含めた論理的な治療ストラテジーの構築が必須です。本セッションではその論理的なストラテジー構築に求められる知識・情報を若手術者の皆さんに提供させていただきます。病理・イメージングからのアプローチによる石灰化病変に対する新たな理解、また各種デバイスのメリット・デメリット・適応病変、更には症例を通じた石灰化病変治療のピットフォールまで幅広く勉強できるセッションになっています。石灰化病変は決して稀な病変ではありませんので、若手術者にとっても避けることが難しい病変です。皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

座長
岡田 正治 滋賀県立総合病院
栗山 根廣 宮崎市医師会病院

3. 石灰化治療: Rota・DB・レーザーを使用して治療する

Rota カクテル・高速・低速の使い分けなど

鹿島 由史 札幌心臓血管クリニック

Diamond back メカニズム・使用法・適応病変など

小林 智子 京都桂病院

石灰化病変に対するエキシマレーザーの可能性

細木 信吾 高知医療センター

4. 石灰化病変治療のピットフォール(症例提示)

栗田 泰郎 三重大学
船田 竜一 群馬大学医学部附属病院
寺村 真範 一宮西病院

他Modalityとの比較: QFR、FFR-CTなどとの比較

谷垣 徹 岐阜ハートセンター

FFR Defer後の患者の予後: ボーダーラインの患者は どうすべきか

坂田 憲治 金沢大学

Resting indexes: 新しい安静時虚血指標

菊田 雄悦 福山循環器病院